

観光経営マネジメント学術セミナー  
アンケート報告

# 開催概要

海外から招聘した4名を含む6名の著名な講師陣による、ツーリズム・ホスピタリティ・マネジメント分野において、世界最先端レベルではどのような研究がなされているか、同分野の学問がどのように体系立てられているか、世界最先端レベルでのツーリズム・ホスピタリティ・マネジメント人材の育成方法や活用方法に関するセミナーを開催した。

【日時】 2日間／3地域／4回

東京A／名古屋：2011年9月18日(日)～9月19日(月)

東京B／京都：2011年9月20日(火)～9月21日(水)

【対象】 ・高等教育に携わる研究者、教育者  
・人材育成や産学官の連携に携わっている実務者

【定員】 各日程：50名

【参加料】 無料

【申込方法】 事前登録制（事前にホームページにて登録。または、参加申込にて申込）

## 【プログラム】

<東京Aの例>2011年9月18日(日)～19日(祝)：TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター (敬称略)

	1時限 9:00～10:30	2時限 10:45～12:15	3時限 13:00～14:30	4時限 14:45～16:15	5時限 16:30～18:00
9月 18日(日)	<b>【MICE I】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Deborah Breiter	<b>【MICE II】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Deborah Breiter	<b>【マーケティング I】</b> Conrad Hilton College of Hotel and Restaurant Management, University of Houston Stowe Shoemaker	<b>【マーケティング II】</b> Conrad Hilton College of Hotel and Restaurant Management, University of Houston Stowe Shoemaker	<b>【組織人材マネジメント I】</b> 慶應義塾大学 SFC研究所 上席所員 高橋 俊介
9月 19日(祝)	<b>【組織人材マネジメント II】</b> 慶應義塾大学 SFC研究所 上席所員 高橋 俊介	<b>【観光経営戦略 I】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida 原 忠之	<b>【観光経営戦略 II】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida 原 忠之	<b>【観光学 I】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Abraham Pizam	<b>【観光学 II】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Abraham Pizam

<東京Bの例>2011年9月20日(火)～21日(水)：TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター

	1時限 9:00～10:30	2時限 10:45～12:15	3時限 13:00～14:30	4時限 14:45～16:15	5時限 16:30～18:00
9月 20日(火)	<b>【観光経営戦略 I】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida 原 忠之	<b>【観光経営戦略 II】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida 原 忠之	<b>【観光学 I】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Abraham Pizam	<b>【観光学 II】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Abraham Pizam	<b>【ケースメソッド教育 I】</b> 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 池尾 恭一
9月 21日(水)	<b>【ケースメソッド教育 II】</b> 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 池尾 恭一	<b>【MICE I】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Deborah Breiter	<b>【MICE II】</b> Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida Deborah Breiter	<b>【マーケティング I】</b> Conrad Hilton College of Hotel and Restaurant Management, University of Houston Stowe Shoemaker	<b>【マーケティング II】</b> Conrad Hilton College of Hotel and Restaurant Management, University of Houston Stowe Shoemaker

# 参加者について

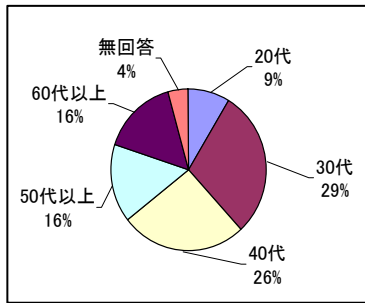
## 【参加者数】

	東京 A	名古屋	東京 B	京都	合計
申込数	57	18	49	52	176
参加者数	56	16	44※	47※	163

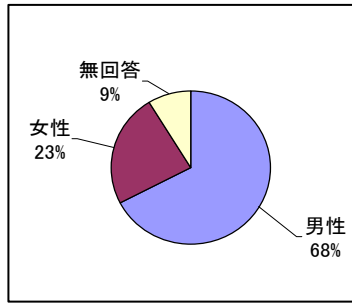
※東京B日程は、首都大学東京主催 観光経営トップセミナー第3期の25名を含む。  
(他に2名が京都会場で受講)

## 【参加者属性】

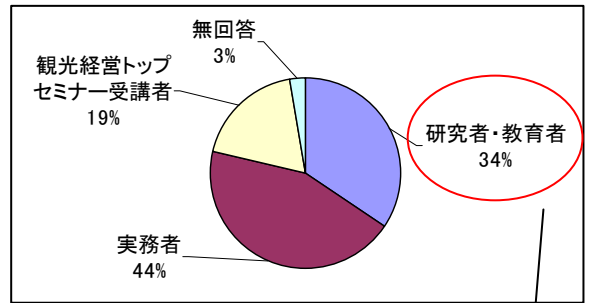
1) 年齢 (n=145)



2) 性別 (n=145)



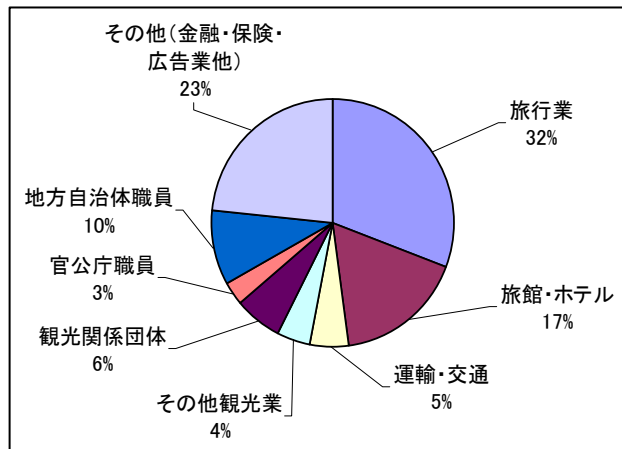
3) 職種 (n=145)



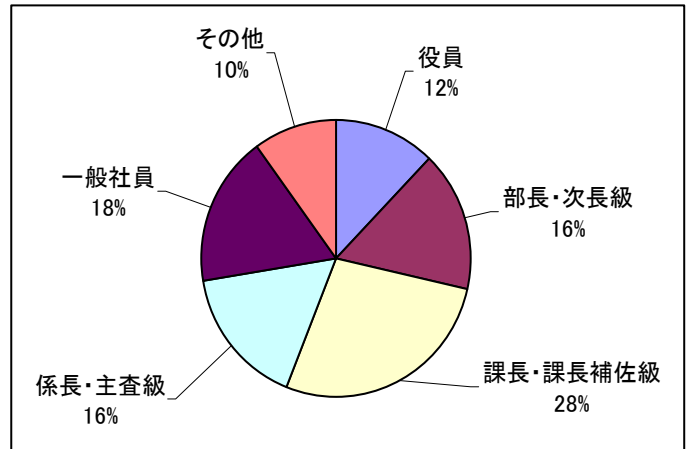
主ターゲットは3分の1

## 【実務者属性】

1) 業種 (n=94)

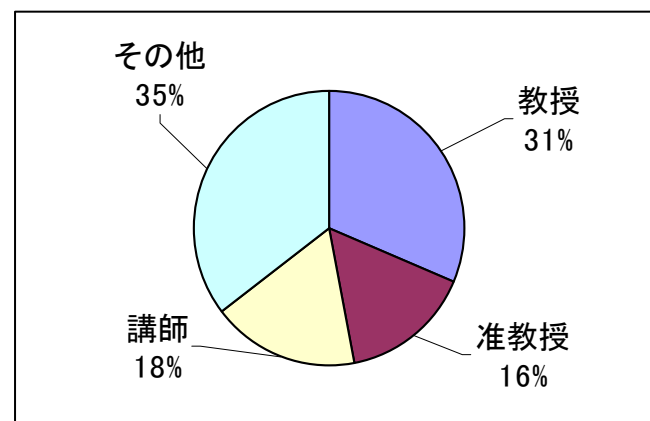


2) 役職 (n=91)

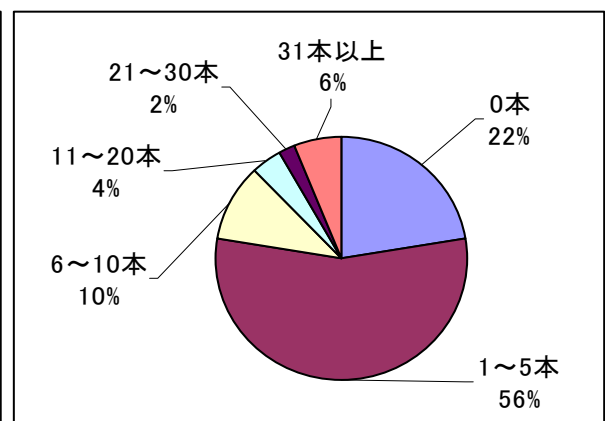


## 【研究者・教育者・院生等】

1) 職階 (n=51)

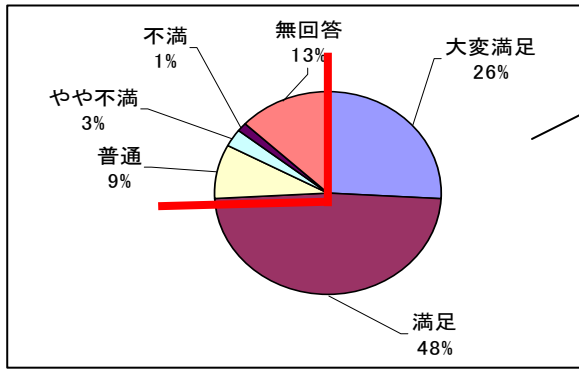


2) 査読つき論文本数 (n=49)



# セミナーの評価について

## 1) 全体の満足度 (n=145)

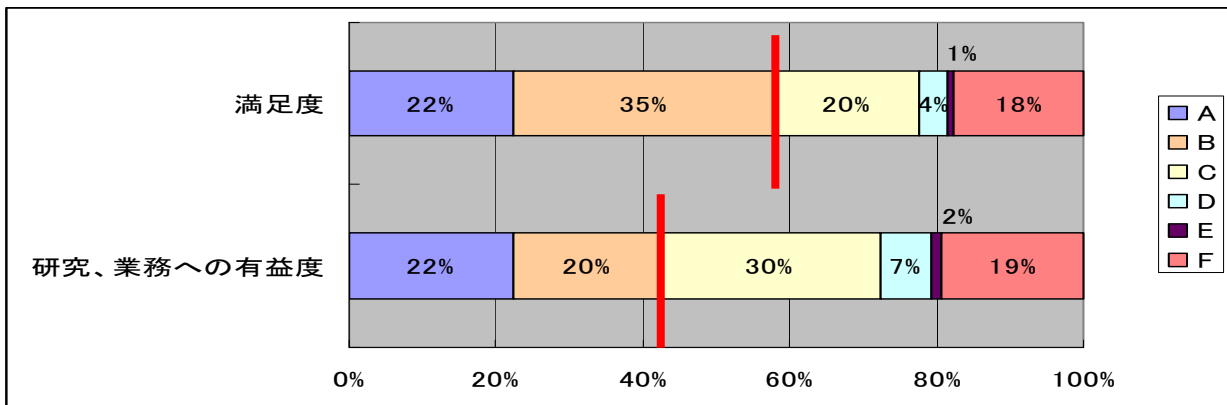


・4分の3が「満足」以上の回答  
 ・「不満」の理由としては、「もう少し専門的なカリキュラムを期待していた」「双方向、グループワーク」

## 2) 講義別満足度・有益度

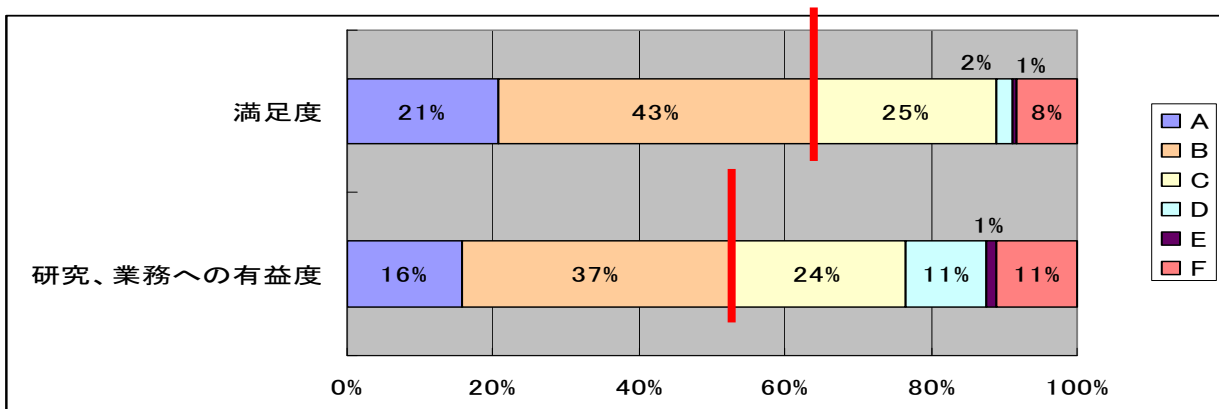
5段階評価基準(無回答(F))  
 満足度: 大満足 5(A) 満足 4(B) 普通 3(C) やや不満 2(D) 不満 1(E)  
 有益度: 非常に役立つ 5(A) 役立つ 4(B) 普通 3(C) 少々役立つ 2(D) 役立たない 1(E)

### 「観光学」: 講師 Abraham Pizam



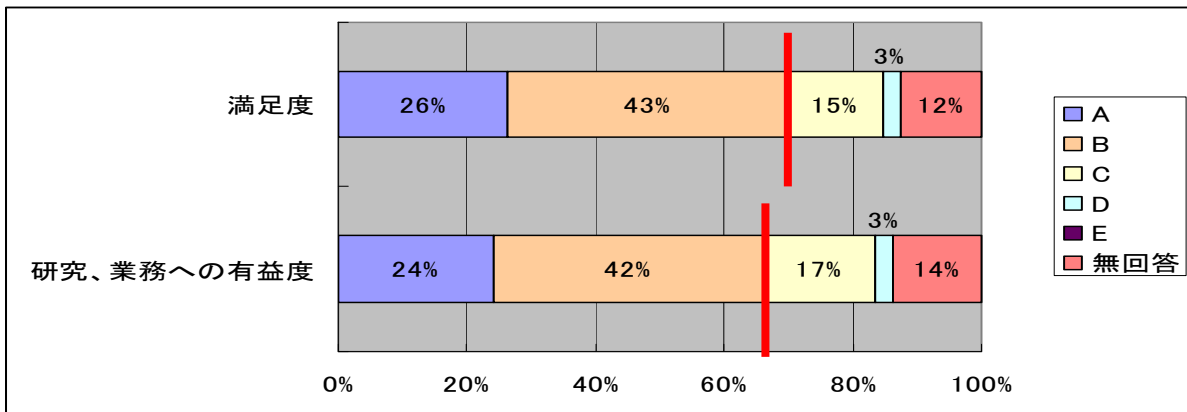
【理由】・ホスピタリティ学の沿革、概要が理解できた。ホスピタリティマネジメント研究のあり方、進め方の知見を得た  
 ・日本が観光経営学後進国であることが分かった。観光経営学を日本で確立する必要性を感じた  
 ・日本の事情に照らして「日本では今、何から改善すべきか」を聞いたかった

### 「MICE」: 講師 Deborah Breiter



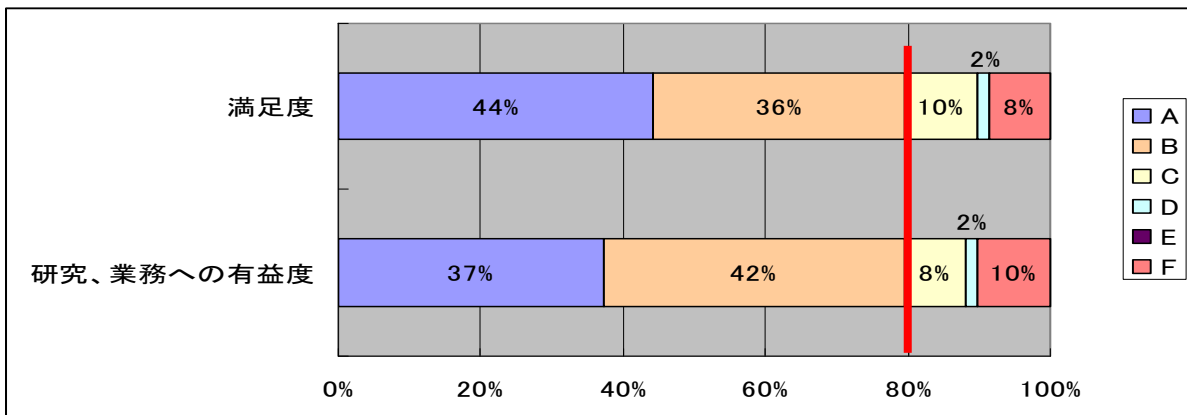
【理由】・MICEやコンベンション経営の基本概念が理解できた  
 ・日本のMICE関係者が体系だって学べる状況をつくるのが大事だと感じた。あまりの落差に愕然とした  
 ・具体的なMICEビジネスの成功例、失敗例を聞ければより理解出来たと感じた

**「マーケティング」: 講師 Stowe Shoemaker**



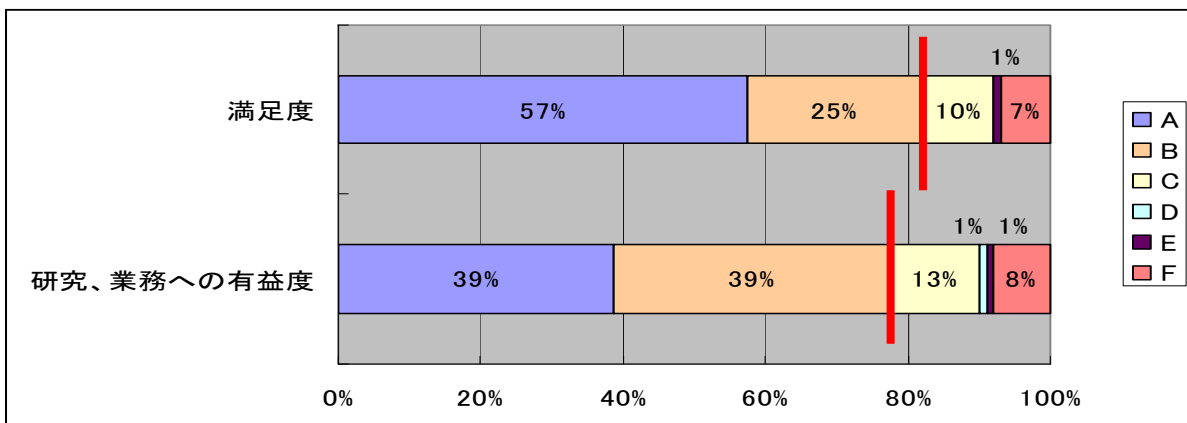
【理由】・実践的で非常に役立った。ソーシャルメディアに対しては日本の対応が遅れていることを改めて感じた  
 ・実績もある教授が新たな分野に貧欲に取り込まれている点でも日本の大学との差も実感できた  
 ・ロイヤリティの構築についてもっと話を聞きたかった。

**「ケースメソッド教育」: 講師 池尾恭一**



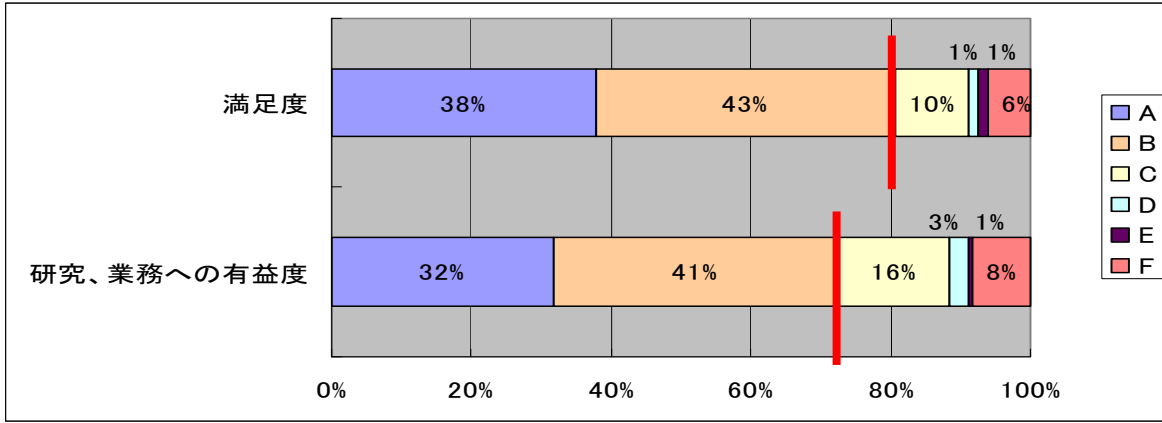
【理由】・ディスカッションの誘導、聞き出しといったファシリテーションに圧倒された  
 ・自社の研修に取り入れたい手法であると感じた  
 ・観光に関するケース・サービス業のケースであれば、より理解出来たと思う

**「組織人材マネジメント」: 講師 高橋俊介**



【理由】・長期的ゴールではなく、1.2年先のステップを示す必要がある、という点は参考になった。離職率が高い  
 自社の組織のバランスの問題が本当に理解出来た。  
 ・人材育成は戦略からブレークダウンされているものでなければならないことが理解できた。

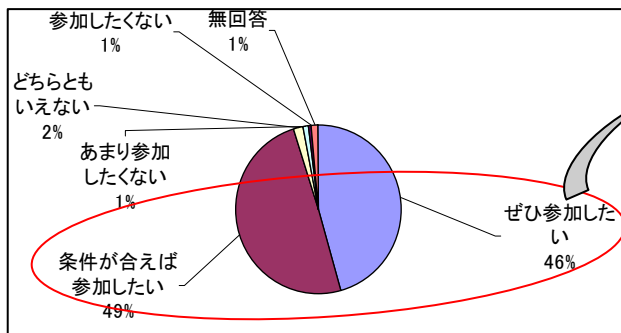
「観光経営戦略」：講師 原 忠之



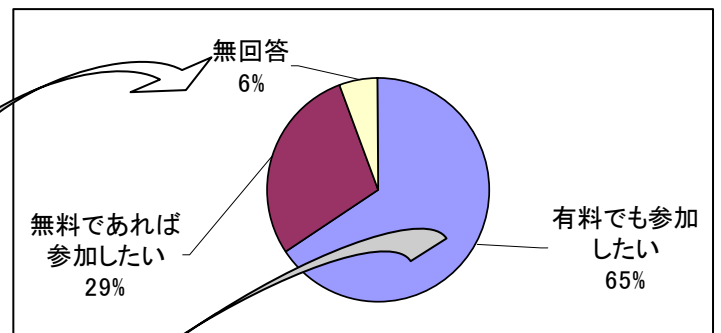
【理由】・大学教育の重要性を改めて感じた。観光業界に限らず日本の硬直的な教育システムの弱さを感じた  
 ・この分野での日本の統計モデルを使った論文をあまり見たことがなかったので、良い経験だった  
 ・観光経営戦略が、観光資源活用・経済活性に役立つことを確信できた

今後の参加意向について

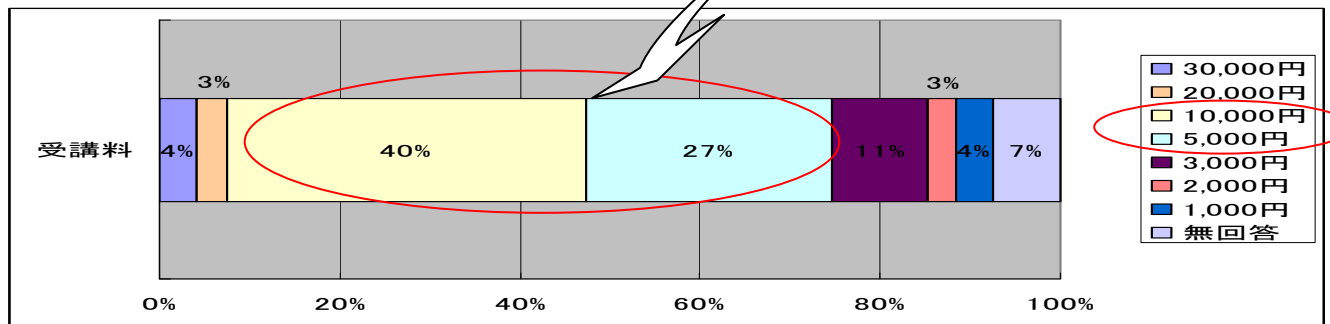
1) 今後の参加意向 (n=145)



2) 有料化の評価 (n=145)

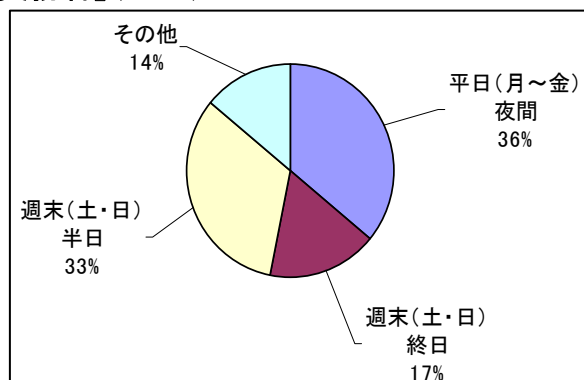


3) 相場観



4) セミナーの開催時間帯

【実務者】(n=91)



【研究者・教育者】(n=50)

